

## 海外安全対策情報（令和3年度第3四半期分）

### 1. 社会・治安情勢

令和元年11月15日、イラン政府がガソリン価格の引上げを発表したことに伴い、イラン各地において、数日間に亘って抗議行動が発生し、一部地域においては、ガソリンスタンド、銀行、政府施設等が襲撃されたと報じられました。イラン政府は、これを受けて、治安回復のための厳しい措置を徹底し、さらに全面的にインターネット接続を遮断するなどして事態の沈静化を図りました。しかし、イラン政府の発表によれば、この抗議行動で230名が死亡した由であり、大きな被害が生じました。また、テヘラン州、フーズスタン州等の複数地域においては、給与未払問題等の経済問題に端を発した抗議行動も引き続き発生しています。

イラン国内におけるテロ・襲撃事件については、平成29年6月7日にテヘラン市内の国会事務所建物内及びイマーム・ホメイニ廟周辺において、複数の武装グループによる銃撃や自爆攻撃により18名が死亡、約50名が負傷する事件が発生しました。また、平成30年9月22日には、南西部フーズスタン州アフヴァーズ市において、軍事パレードに対する銃撃事件（25名が死亡、60名以上が負傷）が発生しました。その後、南東部、南西部含むイランの南部地域においては、襲撃事案等が断続的に発生し、同年12月6日には南東部シスタン・バルチスタン州チャーバハール市の警察本部に対する自動車爆弾攻撃が発生（治安機関員2名が死亡）、平成31年2月13日には同州ハーシュ市～ザヘダン市間の道路において、革命ガードのバスに対する自爆攻撃（車両利用）が発生（革命ガード兵27名死亡）するなどしました。武装組織・テロ組織と治安機関の戦闘が散発している北西部及び西部を含め、今後の同地域におけるテロ・グループの動向を引き続き注視する必要があります。テヘランにおいても、令和2年8月7日には、テヘラン市パスダラン地区における銃撃事件が報じられ、同年11月27日には、テヘラン東方約60kmの距離に位置するダマーヴァンド市付近で、ファフリザーデ国防軍需省研究刷新機構長官の殺害事件が発生しています。

また、依然として、殺人、強盗、窃盗、性犯罪等の一般犯罪の発生もイラン国内の広い範囲で多々報じられていることから、イラン国内における行動については、十分に注意が必要です。

さらに、最近のイランをめぐる国際情勢及び新型コロナウイルス（COVID-19）の感染状況についても十分注意が必要です。

安全関連情報等については、当館から必要に応じて注意喚起情報を発出しておりますが、定期的に最新の報道や当館又は外務省海外安全ホームページを御確認いただくなど、自らの安全確保のための情報収集に心掛けてください。

### 2. 一般犯罪の傾向

#### (1) 概要

イランでは、犯罪発生件数に関する統計が公表されていませんが、各種報道によると、日常的に一般犯罪が発生しているものと考えられます。邦人に対する主な被害として、強盗（偽警察官による強盗、けん銃及び刃物を使用した強盗等）、窃盗（ひ

ったくり、スリ、空き巣、忍込み等)等の事件が発生しております。また、観光客の少ない地方都市において、外国人女性の一人旅を狙った性犯罪が発生していることから、地方都市においては、女性の単独行動は極力控えるなどの注意が必要です。

最近の一般犯罪に関する報道は以下のとおりです。

- 10月19日付の報道によると、テヘラン市治安維持軍は警察週間(10月9日～10月15日)に、テヘラン市内で一斉取締を行い、786名の窃盗犯を検挙し、金2kg、高級時計100個、ノートパソコン20台、スマートフォン100個等の盗品を押収した。なお、検挙された窃盗犯のほとんどが再犯者であった。
- 10月20日付の報道によると、10月19日、テヘラン市治安維持軍犯罪抑止警察司令官は、市内で開催された警察会議において、イラン暦の今年始め(3月21日)から同日までに、同警察が800以上の取締作戦を実施し、多数の犯罪者を検挙したと公表した。なお、作戦では、テヘラン市内において、12,880人の麻薬密輸業者及び24,700人の麻薬中毒者を逮捕し、830kgの麻薬も押収したほか、罪名不明なるも、550人の凶悪犯も合わせて検挙逮捕した。なお、同司令官によると、発見された盗品数は、年初より7%増加したとのことであった。
- 11月4日付の報道によると、10月23日、3人組の男が貿易商の父親を持つ9歳の男児を誘拐する事案が発生した。犯人らは、通学途中の男児に「父親の友人であり、学校に送り届ける」と告げて男児を拉致し、家族に対し、48時間以内に40万ドルの身代金を支払うよう要求した。家族の通報を受けた警察は、詳細は不明なるも犯人らの要求に従う裏で捜査を行い、誘拐から10日後、犯人らを検挙、男児を保護した。
- 11月17日付の報道によると、11月13日、テヘラン市内において2人組の窃盗犯が逮捕された。彼らは携帯電話引ったくりの常習犯であり、現場に居合わせた警察官による威嚇射撃で立ち止まり、そのまま検挙された。
- 11月17日付の報道によると、11月16日、テヘラン市西部において盗賊団同士の散弾銃による銃撃戦が発生し、通行人2人が流れ弾に当たり死亡した。警察は抗争に参加した3人を逮捕した。
- 12月11日付の報道によると、詳細時期不明なるも、テヘラン市に隣接するアルボルズ州において、複数の男性から金品を奪った上で性的暴行を加え、アルボルズ州の砂漠に放置したとして5人組のギャンググループが検挙された。被害者らはアルボルズ州キャラジにおいてタクシーを待っていたところ、犯人らが運転する車をタクシーだと思い乗車、車内で手足を拘束されて金品を奪われたとのことであった。

警察は、被害者の一人は殺害されており、事案解明のため捜査中と発表した。
- 12月25日付の報道によると、12月21日、テヘラン市内において70歳の女性が男性使用人に殺害され、携帯電話を奪われる事件が発生した。21日以降連絡が取れないことを心配した被害者の義娘が自宅を訪れた際、クローゼットの中で遺体を見つけたことにより事件が発覚し、現在警察が使用人の行方を追っている。

なお、当該使用人は義娘に対し、女性は車で出かけたと説明しており、警察が現場に到着した際、行方をくらましている。

## (2) 邦人被害事案

第3四半期中における邦人被害の報告は以下のとおりです。

- 12月15日午後1時ころ、被害男性がテヘラン市内北部ジョルダン地区ラヒーミー通りを歩行中、近づいてきた20～30歳代くらいのイラン人風の男から、持ち物全て渡さなければ包丁で刺し殺すと脅迫されるとともに、首を絞められ、手持ちの現金を奪われた。

## 3. テロ事件等発生状況

### (1) テヘラン市内

第3四半期中、テヘラン市内においてテロ事件等の発生はありません。

なお、テヘラン市内では、平成29年6月7日に発生したISILによるテロ以降、テロ関連事件の発生は報じられておりませんが、令和2年度第4四半期中（令和3年2月24日）には、テヘラン市南部の高速道路の料金所において、リモート式自爆ベストを用いてテロを実行しようとした男が逮捕された旨報じられておりません。

### (2) 北西部及び西部イラク国境付近

北西部及び西部イラク国境地域では、クルド人独立国家の建設を目指す「PJAK（クルド自由生活党）」等による治安部隊等を標的としたテロが散発しておりますが、最近も以下の事件が報じられました。

- 11月6日付の報道によると、11月5日、革命ガードはアルボルズ州で国内で破壊工作や暴動の扇動といった治安攪乱を企図していた「白の蜂起」と称する組織の首謀者らを検挙した旨発表した。

### (3) 南東部パキスタン国境付近

南東部パキスタン国境地域には、「ジェイシュ・アルアドル」、「アンサールル・フォルガン」と称するバルーチ系スンニ派反政府組織等が存在し、同組織らによる治安部隊等を標的としたテロが散発しておりますが、最近も以下の事件が報じられました。

- 12月7日付の報道によると、同日、シスタン・バルチスタン州治安維持軍司令官は、同州で最大規模の薬物密輸ネットワークの指導者とその構成員を検挙した旨公表した（摘発日時に関する言及なし）。

同司令官によると、同州治安維持軍の特殊部隊は砂漠地帯に所在した犯罪組織の拠点を強襲し、犯罪者らとの銃撃戦の末、大物密売人とその部下4人を逮捕、同所からは、7丁のアサルトライフルと多数の弾薬のほか、アヘンやモルヒネといった違法薬物が大量に押収された。

- 12月26日付の報道によると、12月25日、シスタン・バルチスタン州州都ザヘダン市において革命ガード陸軍と反政府組織が交戦し、革命ガード陸軍隊員2人が死亡した。

#### (4) 南西部

南西部には、「アル・アフワズ」と称するアラブ系反政府組織等が存在し、過去同組織らによる治安部隊等を標的としたテロが発生していますが、最近も以下の事件が報じられました。

- 11月29日付の報道によると、同日、フーゼスタン州治安維持軍は声明を発表し、本年7月に同州シャーデガン市で警察官1人が殺害されたテロ事件に関し、実行犯のテロリスト3人を検挙した旨公表した。

治安維持軍によると、テロリストらはアジトで検挙され、同所からは3丁の銃と多数の爆発物・弾薬が押収された。

- 12月8日付の報道によると、12月7日、治安維持軍総司令部は、フーゼスタン州マーフシャーフル市で警察官を襲撃したテロ組織を摘発した旨公表した。発表によると、摘発されたテロ組織は海外諜報機関及び海外反体制派の支援を受け、ここ数年間、治安当局に対するテロ攻撃を繰り返しており、特にフーゼスタン州マーフシャーフル市では、警戒中の警察官らが襲撃され、2人が死傷していた。

#### 4. 抗議行動発生状況

令和元年11月15日、イラン政府がガソリン価格の引上げを発表したことに伴い、イラン各地において抗議行動が発生しました。令和3年度第3四半期中には、テヘラン市やイスファハン州、フーゼスタン州等の都市において、給与支払い、賃上げ、水不足等を訴える抗議行動が発生しました。

特にイスファハン州では、令和3年11月、水不足を起因とした大規模な抗議行動が発生し、報道によれば、11月19日には数万人、11月26日には数千人が抗議に参加、治安当局は抗議キャンプを強制的に撤去したほか参加者を複数拘束したとのことです。

今後も経済制裁や新型コロナウイルスの影響による経済状況悪化に伴う抗議行動の発生や、地方において発生した抗議行動がテヘラン市を含む各地に飛び火する可能性は否定できませんので、抗議行動関連の動向には引き続き注意が必要です。

#### 5. 誘拐・脅迫事件発生情報

##### (1) 誘拐事件

第3四半期中、外国人が誘拐事件の対象となったとの情報はありません。

##### (2) 脅迫事件

第3四半期中、外国人が脅迫事件の対象となったとの情報はありません。

#### 6. 日本企業の安全に関わる諸問題

現時点では、当地における日本企業及び外国企業を対象とした脅威は特段見られません。ただし、上述のとおり、今後、国内各都市で発生する抗議行動が、テヘラン市を含む各地に飛び火する可能性は否定できないため、抗議行動関連動向には引き続き注意が必要です。冒頭に記載したとおり、定期的に最新の報道や当館又は外務省海外安全ホームページをご確認いただくなどして、自らの安全確保のための情報収集を心掛けてくだ

さい。